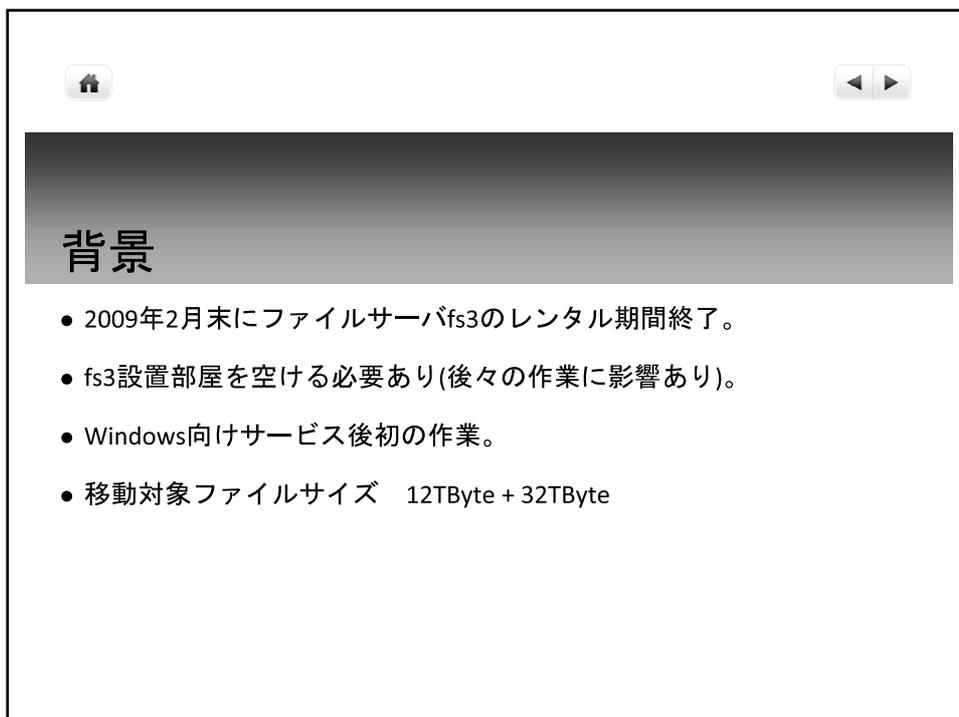
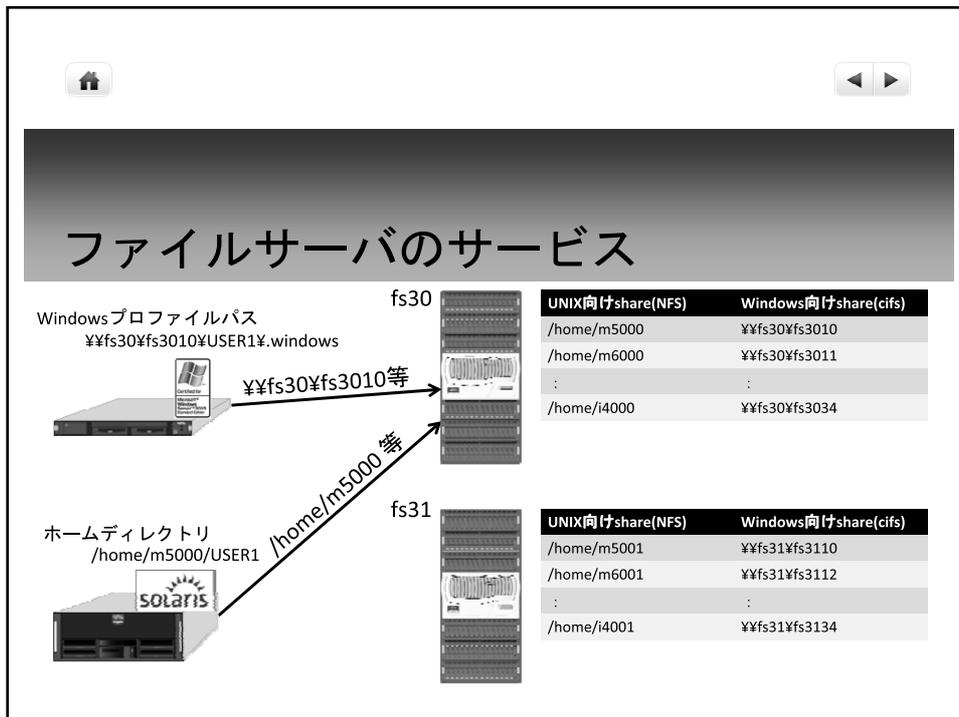


Title	ファイルサーバレンタル終了に伴うファイル移動作業
Author(s)	中野, 裕晶
Citation	国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学技術サービス部業務報告集 : 平成20年度: 24-30
Issue Date	2009-11
Type	Presentation
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/9991
Rights	
Description	





-
- 検討事項**
- ファイル移動スケジュール
 - プロファイルパスの変更
 - ファイル名の文字コード変換



ファイル移動スケジュール(1)

- M2,D3のユーザ分の作業時期は修論の時期を外す。
- なるべくサービス停止時間を短く。
- ターミナルサーバからログアウトしているタイミングでの作業実施。



ファイル移動スケジュール(2)

- NFSサービス

マウントポイント(/home/m5000等)単位で作業ができる。

→ 各ユーザにつき1時間程度のサービス停止で作業可能。

UNIX(NFS)	Windows (cifs)
/home/m5000	¥¥fs30¥fs3010
/home/m6000	¥¥fs30¥fs3011
:	:
/home/i4000	¥¥fs30¥fs3034

- cifsサービス

パスにサーバ名が含まれる為、サーバ単位でしか作業ができない。

→ 1日以上サービス停止が必要(見積もりが非常に困難)。

→ もしプロファイルパスを変更できれば小分けに作業が可能。

→ プロファイルパスの変更を行っても問題無いかを確認。

プロファイルパス変更の確認

ADに登録されているアカウントのプロファイルパスを変更して以下を確認。

- ターミナルサーバにログオン。 → 問題無し。
- NTUSER.DATファイルの内容確認。 → 新パスに書き変わっている。
- 壁紙等々の維持。 → 問題無し。
- IE, Office, Thunderbird, Firefox等々の動作確認。 → 問題無し。

↓

プロファイルパスを変更してもターミナルサーバ利用に影響がなさそう。

プロファイルパスの変更(1)

プロファイルパスからファイルサーバ固有の値を除外

Windows プロファイルパス
¥¥m5000¥m5000¥USER1¥.windows

ホームディレクトリ
/home/m5000/USER1

fs210(別名: m5000, m5001)
fs211(別名: m6000, m6001)
:
fs220(別名: i4000, i4001)

UNIX向けshare(NFS)	Windows向けshare(cifs)
/home/m5000	¥¥m5000¥m5000
/home/m6000	¥¥m6000¥m6000
:	:
/home/i4000	¥¥i4000¥i4000
UNIX向けshare(NFS)	Windows向けshare(cifs)
/home/m5001	¥¥m5001¥m5001
/home/m6001	¥¥m6001¥m6001
:	:
/home/i4001	¥¥i4001¥i4001

プロファイルパスの変更(2)

fs3

UNIX向けshare(NFS)	Windows向けshare(cifs)
/home/m5000	¥fs30¥fs3010
/home/m6000	¥s30¥fs3011
:	:
/home/i4000	¥fs30¥fs3034

fs2

UNIX向けshare(NFS)	Windows向けshare(cifs)
/home/m5000	¥m5000¥m5000
/home/m6000	¥m6000¥m6000
:	:
/home/i4000	¥i4000¥i4000

fs3

UNIX向けshare(NFS)	Windows向けshare(cifs)
/home/m5001	¥fs31¥fs3110
/home/m6001	¥fs31¥fs3111
:	:
/home/i4001	¥fs31¥fs3134

fs2

UNIX向けshare(NFS)	Windows向けshare(cifs)
/home/m5001	¥m5001¥m5001
/home/m6001	¥m6001¥m6001
:	:
/home/i4001	¥i4001¥i4001

ファイル名の文字コードについて(1)

- fs3
保存される際のファイル名は基本的にEUC-JPだが、他の文字コードでの保存も可能。
- fs2
保存できるファイル名はUTF-8のみ。

↓

2バイト文字ファイル名のものを移動するにはコード変換が必要。



ファイル名の文字コードについて(2)

- UNIX経由で移動を行う場合
 - rsyncコマンドのiconvオプションでコード変換が可能。
 - 元ファイルの文字コードを知る必要あり。
- Windows経由で移動を行う場合
 - 文字コードは自動的に変換してくれる。
 - Windowsから見ると文字化けするファイルがある為、これらを除外する必要がある。



ファイルの移動作業(1)

- RealSync(Win)を使用して USERNAME/.windowsをfs2へコピー後、オーナー情報等を変更。
- rsync(UNIX)を使用して、残りのディレクトリをfs2へコピー。

```
rsync -aH --delete S_DIR D_DIR
rsync -aH --delete --iconv=ISO-2022-JP,utf-8 S_DIR D_DIR
rsync -aH --delete --iconv=euc-jp,utf-8 S_DIR D_DIR
```
- 上記1, 2のエラーログに引っかかったファイルについて、個別に文字コードを確認しながらrsyncを使用してfs2へコピー。

ファイルの移動作業(2)

- LDAP上のauto_home, winProfilepathの変更。
- AD上のfs3用グループからのユーザ削除。

- ファイル移動作業: 2008年7月上旬～2009年1月下旬
- fs3設置跡部屋: ユーザ室
- 前ユーザ室: サーバ設置用の部屋として改装中